

# 月一皆で打ち、そして居酒屋へ 本来の楽しさ「NORIUCHI会」

人材育成委員会委員長 前田 竜哉



人材育成委員会前田と申します。  
日頃、谷口久徳副会長、委員の皆様、そして多くの関係者様に支えられながら、なんとか委員会業務を推進しております。今回縁あって初の投稿となりますが、特に気の利いた高尚な趣味も持ち合わせておらず、やはり業界人としての王道、「ぱちんこ」の話に興じたいと存じます。



「NORIUCHI会」で集合。さあがんばるぞと元気いっぱい（左端が前田委員長）

翼くんの「ビッグシューターは友達、こわくないよ」と読み間違えたことをキツカケに、ハネモノデビューからはや20年、細々と大衆娯楽の範疇でぱちんこを楽しみ続けて来ることができました。20年前と比べれば、業界も遊技環境や接客サービス、遊技台性能と、大変目覚ましい進化を遂げてまいりました。しかしながら、「あの頃より楽しくなったよね」という会話よりも、「昔は楽しかった」という表現の方が業界関係者間で大変多いように感じます。

世持つ屈強なメンバーで結成された、独自のぱちんこサークルです。開店前には全員で並び、並んで遊技、気付くとコースに誰もいなくなっている勝手が気ままさ。ふと携帯を見ると、大当たりやプレミア画像が自慢げに飛び込んできます。終了後は、居酒屋でぱちんこ談義と洒落込み、惜しみながら翌月の招集日を決めて解散します。さ



パチスロを楽しむ前田委員長

ながらそれは、私たちだけの月一イベント。



「負けても楽しい」と若いメンバーが口にするその光景は、忘れてかけていた「遊びのプロセス」を謳歌する、人と人が集まることで得られる本来のぱちんこの楽しさを垣間見ます。

いずれ多くの仕事ロボットに取って代わられると言われていいますが、人の「楽しい」を創りだすのはどこまで行っても「人」なのだと思えます。我々人材育成委員会では、「人を育む」ことこそが「業界の成長」であると信じ、大好きなこの業界に少しでも貢献できますよう今後とも努めてまいります。皆様におかれましては、人材育成委員会の取り組みにあらためましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。